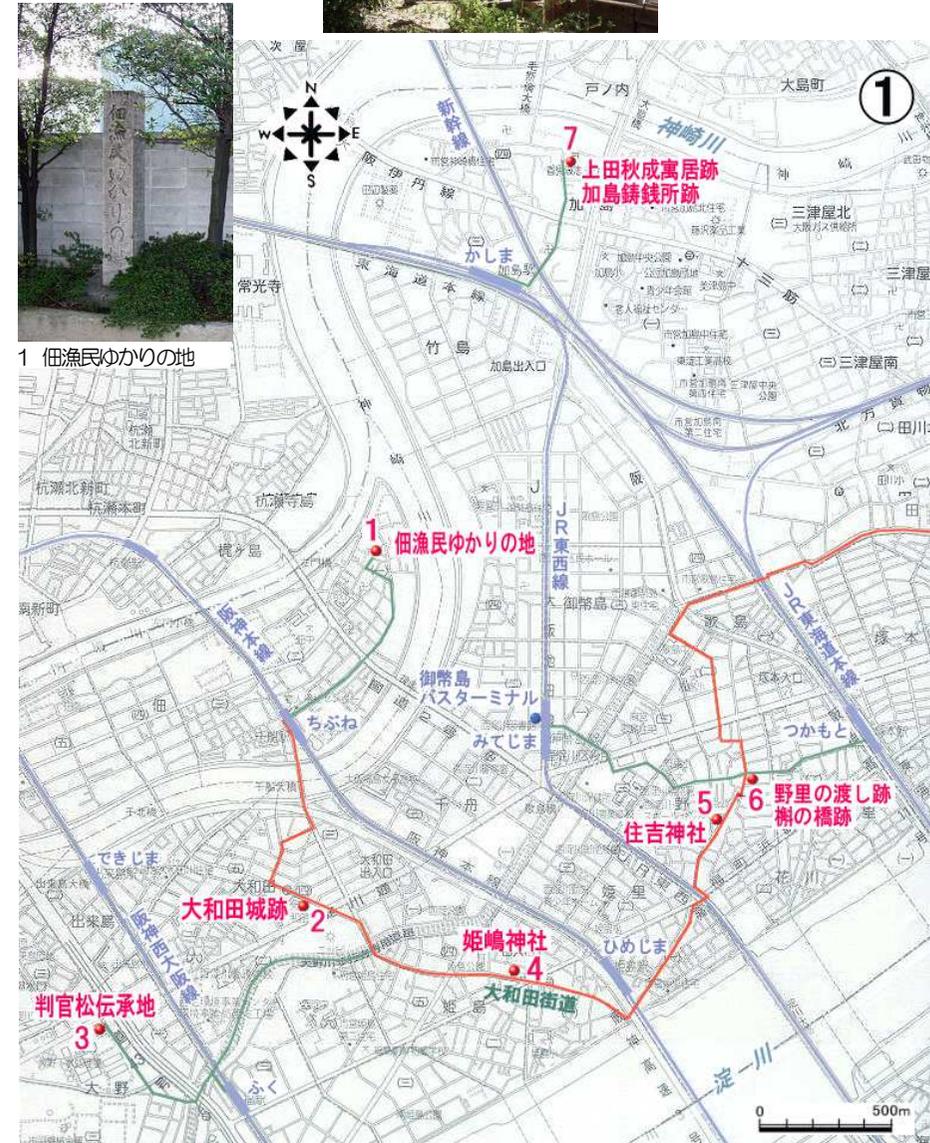


[3] 東淀川区西部

- 12 須賀神社跡のくす：高さ30m、直径1.6m、枝張り30m以上の巨木、大阪府天然記念物（東淀川区西淡路四丁目17、児童公園内）
- 13 中島大水道跡：中島大水道は、延宝6年(1678)、低湿地であった淀川以北22か村の農民が、滞水を大阪湾へ排出するために自力で開削した長大な水路であった。（東淀川区西淡路五丁目1、新幹線高架脇）
- 14 柴島神社（東淀川区柴島三丁目7）
- 15 柴島城跡：戦国時代、西国から京への道筋にあたる当地は戦略的に重要視され、細川、三好などの居城となった。（東淀川区柴島二丁目19-5）
- 16 摂津国分尼寺伝承地：天平13年(741)、聖武天皇が全国に国分寺、国分尼寺を配置したが、摂津の国の国分尼寺はこの地に建立されたと伝えられる。（東淀川区柴島二丁目12、法華寺）
- 17 摂津県・豊崎県庁所在地跡：明治の初頭、この辺りは大阪府から分離して摂津県とされ、後に豊崎県と改称された。県庁舎は崇禅寺の建物を使用していたようである。（崇禅寺門前）
- 18 崇禅寺（東淀川区東中島五丁目27）
- 19 中島惣社（東淀川区東中島四丁目9）
- A 水道記念館（東淀川区柴島一丁目3-1、柴島浄水場内、登録有形文化財）



7 上田秋成寓居跡
加島鑄銭所跡



1 佃漁民ゆかりの地

水道記念館

送水ポンプ場として大正3年(1914)に建てられ活躍してきたが、新しいポンプ場の完成によりその役目を終え、昭和61年(1986)に記念館として再出発した。

水道記念館は、平成24年4月1日から一時休館しており、現在、今後の運営について見直しを検討している。



亀岡街道

淀川改修以前のの中津川及び淀川の右岸を通っていた亀岡街道(高麗橋を起点に現在の京都府亀岡市に至る)は、現在の通称赤川鉄橋北詰の東で堤防からはずれ、北へ向かっていた。

このあたりでは古い家並みや道標などが見られ、往時の旧街道の賑わいを偲ぶことができる。



[2] 淀川区東部

- 8 **神津神社** (淀川区十三東二丁目6)
- 9 **蒲田神社** (淀川区東三国二丁目 18)
- 10 **長柄人柱碑**: 飛鳥時代のこと、長柄の橋の人柱となった巖氏の冥福を祈り、推古天皇が長柄の橋のそばに橋本寺を建立したという。これが大願寺の起源で、同寺がこの碑を管理している。
(淀川区東三国一丁目 5)
- 11 **大願寺** (淀川区東三国一丁目 4-5)



10 長柄人柱碑

のせ能勢街道

中津付近で中国街道から分岐し、池田・能勢方面へ向かう能勢街道は、淀川を渡ったあたりで山田街道（中之島の船津橋付近から現在の吹田市山田に至る）と合流し、三国橋（明治6年までは渡し）を経て豊中市に入る。

沿道の状況は、十三駅と三国駅付近は商店街を形成していて、わずかに旧街道の面影を残すが、中間部は工場や高層マンションが建ち並び、道幅も広がって現代風の街並に変わっている。

